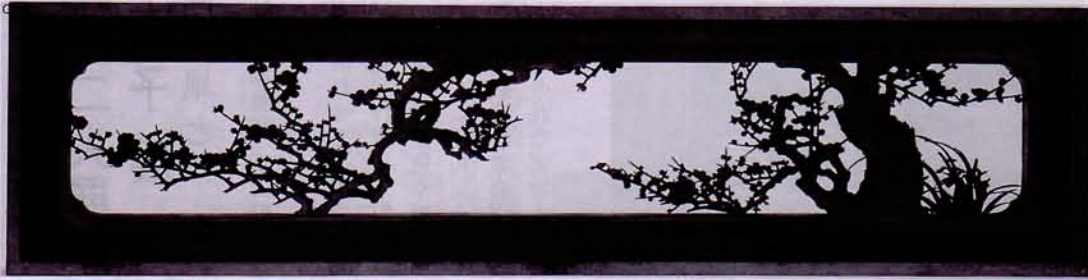


青井記念館美術館

はぐくみ会だより

第 9 号

平成12年 4月1日



『欄間（梅蘭透）一面』

3×22×115

大島五雲

所蔵作品紹介

(8)



大正3年
サンフランシスコ万国博覧会出品作品

会場風景 大正3年10月撮影

第六回青井中興館 青井記念館

同窓生ギャラリー

十二町仁三・袋謹治二人展
林 兼二・富士子展

が開催される

——日本画と凧と——

昭和十八年十二月 図案科を卒業された日本画家 十二町氏と水彩画家 袋氏の二人展が十二月四日より一月十六日まで開催されました。

十二町氏は「港」シリーズの大作五点と併わせて下絵を出品、袋氏は水彩画ながら百号三点、六十号四点、他三点計十点の力作を展示。地元作家十二町氏はファンも多く、連日沢山の入館者を数えました。又袋氏の作品は居住地の八尾町雪景色や樹木をテーマとした作品など好評でした。

その後一月二十二日より二月六日まで林兼二（昭和三十一年図案絵画科卒）・富士子展「日本画と凧」として日本画を中心に展示、兼二氏の心象表現と富士子氏の詩情豊かな人物と色彩の組合せが美しく印象的でした。又天井から吊された実物大の鳥型凧などユニークな雰囲気の間場となりました。



十二町氏の作品



袋氏の作品



林展会場

第六回青井中美展 結果報告

開催期間 平成十一年十一月十八日(水)

十一月二十八日(日)

参加校 五十四校

応募総数 九九三点

各受賞者

青井大賞

富山県知事賞

富山県教育委員会教育長賞

最優秀賞

優秀賞

富山新聞社優秀賞

チューリップテレビ優秀賞

優良賞

富山新聞社優良賞

チューリップテレビ優良賞

佳作

学校奨励賞

(学校名)

三谷 由美 (高岡西部)

瀬戸 美保 (水見北部)

中村 伊宏 (福野)

青木 紀子 (志貴野)

林 真名 (大泉)

石坂 渉 (早月)

瀧田 辰徳 (蟹谷)

吉野 夏妃 (新湊南部)

森 琢郎 (出町)

出江 啓祐 (牧野)

山田 直毅 (福岡)

長谷川 拓司 (牧野)

岡田 麻里 (堀川)

三輪 真優子 (水見南部)

小竹 護 (射北)

山吉 麻希 (中田)

中嶋 真人 (井口)

森田 安希子 (庄川)

澤田 啓介 (戸出)

野原 千恵子 (高岡西部)

今井 勇太 (伏木)

嶋田 愛 (八尾)

中山 裕香 (雄山)

堀川 中学校

牧野 中学校

蟹谷 中学校

特別展 畑正吉の世界展が好評

初代校長納富介次郎像の制作者である畑正吉の世界展が十二月四日から平成十二年四月二日まで開催されています。

畑氏からの寄贈作品は昭和二十九年本校の六十周年を記念して能額「田村」(レリーフ)一点を寄贈されました。その後昭和三十七年には美校在学時代、文展、帝展出品作、造幣局時代等「去却」(ブロンズ)を始め二十二点の多くが一括寄贈され、今回収蔵作品全てを展示いたしました。

本校創校後、第一回・四回生として卒業された偉大な彫刻家の初期から円熟期に至る作品は見学者に深い感銘を与えました。

高岡工芸高校と工業デザイン教育の流れ展

工業デザイン教育の流れ展は二月十一日より二十日までに開催されました。

昭和三十九年四月に垣内保子先生がデザイン科へ赴任し工業デザインを中心に担当され、一昨年の平成十年三月人事異動により転出されるまでの在籍三十四年間に、先生が教材の参考資料として保管された生徒作品を中心に「発想の展開」「各種の表現」「レタリングの練習」「完成予想図」「Y M C A デザインコンクール」「モデリング」等に区分して展示。古い卒業生には昭和四十年から平成五年まで力作を飾り、過去の生徒達の思い出など語り合う楽しさがありました。



所蔵作品紹介 (8)

表紙

「欄間(梅蘭透)一面」

大島五雲

大正三年サンフランシスコ万博に出品された「清海春蘭」欄間の一面でその後学校に納められた。

制作は前年大正二年頃と推定される。

老梅の枝に花が咲き乱れる様子を広い余白を背景にして右端に老木の太い幹と蘭を添え、上部から左端へと流れる枝の美しい流れに的確な構成に彫刻美と共に絵画風の美しさに相通じる魅力を感じる。

尚、本校に保存されている下の会場風景写真によれば、上段中央が大島五雲作「欄間」、左側に掲げられた日本画は、大正二年図案科卒業の寺田元吉「猫の図」(卒業制作)で、現在当青井記念館美術館に収蔵されている。

作者紹介

文久二年井波町に生れる。本名は五作。本校が創校されて十七年後明治四十四年四月より彫刻教師として奉職。「技術は語るものでなく、自ら体得するもの」との考えから一年で工芸学校を辞した。

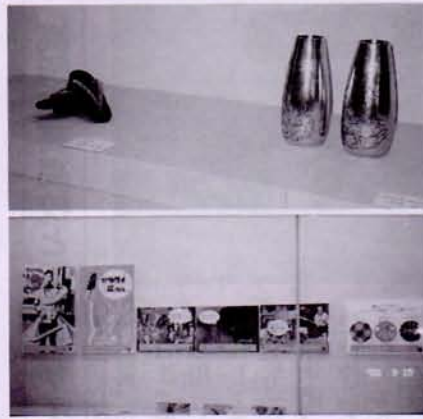
大島五雲は、井波彫刻が神社や寺院の彫刻を主だった仕事としていたが、住宅欄間を作るなど仕事の領域を拡げた功績が大きい。

又素材に初めて樟けしきを使ったり、技術面で籠彫りかごぼりを使った作品もあり、重厚さの中にも華麗な出来ばえとなっている。

平成十一年度 工芸科・デザイン科
卒業制作展

平成十二年三月五日(日)

～四月二日(日)まで



工芸科・デザイン科卒業制作展の中から優秀作品を展示しています。

工芸科は専攻別に一点ずつ出品。木材の階段と木を組みあわせたオブジェ・金属の金地の花瓶に彫金された観音菩薩・漆の黒地に青貝塗り下駄など繊細な美しい作品です。デザイン科は三つのコースからポスターや製品デザイン・模型など出品。工業デザインのテーブカッターのデザイン、商業デザインの視・聴・触に訴えるCDの商品開発、他二名環境デザインはデザイン棟のスペースデザインを発表し、いずれも見応えある力作揃いの展覧会です。

寄贈作品の紹介



「苧環釜」

般若 保氏(昭和三十四年電気科卒)作

工芸「砂鉄 苧環釜」

〃「黄銅唐銅 吹分風鑑」

松木英子氏(昭和三十一年図案絵画科卒)作

洋画「後 齋」

昨年十一月より三月まで卒業生二名三点の作品を寄贈していただきました。

はぐくみ会会員募集のお知らせ

はぐくみ会では会員を募集しています。申し込まれた日から一年間会員となります。主な活動

- 1 青井記念館美術館への協力・支援
- 2 中学生美術展(青井中美展)への支援
- 3 はぐくみ会だよりの発行

特典

- 1 企画展等の案内
- 2 はぐくみ会だよりの配布

年会費

一般会員(個人)

二、〇〇〇円

特別会員(企業、団体等)

一〇、〇〇〇円

お問い合わせ・申し込み先

青井記念館美術館はぐくみ会事務局

TEL(0766)211-1630(内線85)

スタンプかできました!



中学生からも要望のあった青井記念館美術館のスタンプが、高岡工業高等学校全図と合わせてデザインされこのほどできました。カウンター上に置かれ、自由に押印できます。

インクの色はスクールカラーに合わせて緑色です。是非ご利用ください。

編集後記

二千年国体の冬期大会が開幕を控え連日の好天と暖冬そして雪不足は深刻なものでした。所が二月中旬開幕直前からの雪模様は国体を素晴らしい状態で無事終了。この雪が七年ぶりの大雪となり、三月十日まだ雪が降り除雪車も走っています。外は一・二月の様相ながらも三月中旬となり。本年実施した展覧会を振り返り「はぐくみ会だより」を執筆しています。

これからも高岡工業高等学校の付属青井記念館美術館の特色をだせるよう皆様方のご指導をお願いします。

編集発行

富山県立高岡工業高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

住所 933-8518 高岡市中川一丁目二〇

TEL(0766)211-1630(内線85)

FAX(0766)211-1631

*青井記念館のホームページを開設しております。
<http://www4.justnet.ne.jp/~kougei-2/>